

公共施設再編成プランによる総合文化センターの位置づけについて

施設名	建築年度	床面積 (㎡)	耐用年数 到来年度	今後の方向性	計画(案)・検討事項	再編面積 (㎡)※2
中央公民館 (総称 総合文化センター)	S59 (1984)	6,012.00	R16 (2034)	規模を縮小。 瑞浪駅周辺再開 発事業※1に伴 う公共施設と複 合化	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在のホール、講堂、展示室の利用に対応できるよう平土間にもなり、市民が身近に文化芸術に触れたり、文化芸術活動や発表の場として利用可能なホール機能をもつ多目的ホール</li> <li>客席は780席→400席程度に縮小</li> <li>貸室は、防音機能と使用面積の調整が可能なスペースを充実 ※3</li> </ul>	4,208.40
市民図書館	S58 (1983)	1,239.00	R15 (2033)		<ul style="list-style-type: none"> <li>サロン型図書館への転換</li> <li>利用者拡大と利用方法多様化、コミュニティーを追求</li> <li>居心地の良さ、カフェ等の付加機能の充実</li> </ul>	867.30
計		7,251.00				5,075.70

※1 駅北エリア事業スケジュール(案)

年度	作業内容等
令和3～4年	事業化検討・事業実施手続き
令和5～6年	各種調査、基本・実施設計
令和7～8年	工事
令和9年～	施設開業・運営開始

※3 施設の利用状況(平成30年度実績)

	稼働率 (利用日数/開館日数)	ホールの 利用内容	ホールの利用人数	
			400人以下	401人以上
ホール	54.8% (172/314)	①	117日	26日
講堂	56.1% (176/314)	②	14日	15日
展示室	24.2% (76/314)	※利用内容		
会議室	57.3% (180/314)	①文化芸術に触れる、活動及び発表の場		
リハーサル室	77.1% (242/314)	②総会、講演会等		

※2 瑞浪市公共施設等総合管理計画(平成29年3月)で、公共施設延床面積を50年間で30%削減する数値目標を掲げる。